

進路だより

発行：平成29年4月11日

1 合格体験記

これまでの卒業生から皆さんへ合格体験記を贈ります。進路活動について先輩方の行ってきた勉強法などを自分の進路実現の参考にしてください。

「全ての教科で合格までに必要な点数を計算し、弱点を見つけてから勉強」

中等2回生 京都大学法学部

①学習方法

前期課程時代からサボりぐせがついており勉強が大嫌いだったので、できるだけ少ない勉強時間で最大の効果をあげられるよう意識しました。全ての教科で合格までに必要な点数を計算し、弱点を見つけてから勉強するようにしていました。

平日の勉強時間は50分×3科目で2.5時間でした。

休日の勉強時間は60分×5科目で5時間でした。

英語→英検準1級の過去問や東大・一橋・早稲田政経の問題を多読していました。リスニング対策で東大の問題を10年分ときました。英語は、やらないとすぐ感覚が鈍る教科だったので必ず毎日やりました。

数学→授業の予復習が中心でした。得意な整数・幾何は東大・京大の理系の問題で磨きをかけました。初めからセンターと日本史のマイナスぶんを数学で取り返す予定だったので、数Ⅲを全範囲終わらせ使いこなせるようにしました。

国語→現代文は対費用効果が薄いと見え、直前期の過去問以外は年間を通じて全く取り組みませんでした。古典は単語プリントやセンター過去問プリントをしました。後は過去問を解きました。

日本史→後期から真面目に取り組み始めました。後述の問題集を繰り返して解きました。論述は予備校の先生に添削してもらいました。

②受験に対する心構え

文系であれ、鍵を握る教科は数学なので、できるだけ早めの対策をすると良いと思います。あと、優秀者で冊子掲載されている人が落ちたりずっとE判定の人が合格したりしているので模試の結果はあまり気にしなくて大丈夫だと思います。

②参考となった参考書・問題集

英語：ドラゴン・イングリッシュ必修英単語1000(講談社)

決定版 竹岡広信の 英作文が面白いほど書ける本(KADOKAWA/中経出版)

日本史：時代と流れで覚える！日本史B用語(文英堂)

日本史の論点 駿台受験シリーズ 入試対策演習 ACCESS (論述対策用) (駿台文庫)